

## 平成 29 年度上サロベツ自然再生協議会 第 18 回再生普及部会 議事録

### 【開催概要】

- ◇日時 : 平成 30 年 3 月 6 日(火)14:00~16:00
- ◇場所 : 豊富町定住支援センター多目的ホール
- ◇出席者 : 27 名
- ◇傍聴者 : 2 名(報道関係者)

### 【議事録】

#### (1) 開会

- ・座長に吉村氏が就任

#### (2) 議事

##### ①平成 29 年度の普及活動の結果について

- エコモー・サポーター田中代表から資料に基づき説明された。  
(質疑意見無し)

##### ②第 3 期上サロベツ自然再生普及行動計画の策定について

- 事務局から資料に基づき説明された。

#### 《質疑》

事務局：環境省などの官公庁は国立公園としての関わりはこれからも続けていくが、10 年が経過し、様々な事業の見直しを行わなければいけない時期に来ている。今後の普及活動の大部分は地元の役場や NPO などの組織が主体的に取り組んで行かなければ続かないと考えているので、地元団体が行うのが最善だと考えている。

座長：これまで広がってきた活動をこれからも続けていくためにも皆様のお知恵と力をお借りしたい。

構成員：第 1 期・2 期は自然再生の普及活動がまだ確立していない中で、国が主導で事業を「伝える」という流れでこれまで行ってきた。第 3 期では国や道などの行政機関が事業から手を引いてしまうので、今後は地元が主体で普及活動や啓蒙活動を担ってほしいという考えはわかるが、実際には参加して下さる方が少ないのが現状だと思う。

釧路湿原では市役所の有志が主体的に釧路の自然を伝えるために取り組んでいるみたいなので、そのような人材を発掘できればいいが、実際にはそう簡単には

いかないのではないかと。

また、これは行動計画なので、行動に伴うであろう結果や目標を指針として掲げていいのではないかと思う。環境省が国立公園に関与するのは分かるが、ある程度の目標設定などを設けるべきではないかと思う。

事務局：確かに具体的に何をすべきかについて書くべきかもしれないが、誰がやるのか？  
と言うのが残念ながらエコモ・サポーターの中ではまとまらなかった。

しかし、第3期計画も、第1期・2期で掲げてきた方向性に準じているので、これを根本においたうえで、具体的に年間の計画を立てていく事になると思う。あくまでも実際に取り組む人たちがいかに命を吹き込んでいくかという事が大切になると思う。

構成員：この改定計画の関わったエコモ・サポーターとしての意見なので、サポーターが素案を作成してこの普及部会で公開する形で進めてきたが、これは決定したものを全てサポーターがやっていくものではなく、地域の皆様にも関わっていただきたいと思う。先ほど、具体的な目標値についてのお話も出ていたが、現段階では方向性について議論している段階なので、もし目標についての具体的なご意見があればご教授願いたいと思う。あくまでも、目標や具体的な内容を決定するのはサポーターではなく、この普及部会の場であると考えている。

構成員：この資料を読んでいて、遠方に住む方からでもお手伝いをしていただけるのではないかと思った。ただ、人口の多い札幌や旭川などと支援のつながりが無いと難しい。道民でさえ本当のサロベツの良さを知らない方が少なくないと思うので、もう少しこの地域のことを知らしめるために、例えば札幌の地下歩行空間の無料スペース等でサロベツを宣伝するような取り組みを行った方が良いと思う。個人的にはお手伝いできることはお手伝いしたいと思う。

事務局：今のご意見は非常にありがたく思う。自然再生事業の「実施計画」であれば計画に沿って、「誰が取り組んでいくのか」が決められるが、この「普及行動計画」は「誰が」の部分が無いので、義務的に取り組むことが難しい点がある。

また、実行部隊がないこと等からもなかなか具体的な目標を立てにくく、皆さんで取り組む方向性の形でしか示すことできなかったというのが実情。

ただ、今回位置づけられたものは皆さんで連携して取り組んでいく為の一つの方向性としてとらえていただきたいと思う。今後、具体化にあたっては今回非常に良い意見を頂けたので、運営の中で活かしていければと思う。細かい点の修正は座長と一緒にいき、協議会の際に報告させていただければと思うが、ベースと

してはこれでご承認いただければと思う。

座長：この場では現在お示ししている計画で承認いただきたいと思うが、よろしいか？  
後のことはエコモー・サポーターの方で進めていただいて協議会で図るという事  
でお願いしたい。

### ③平成 30 年度普及活動の進め方について

○事務局から資料に基づき説明された。

《質疑》

事務局：実際にはエコモー・サポーターができる役割は限られている。エコモー・メン  
バーを増やして、その方々が取り組んでいくものを支援する形を取りたいと思うが、  
頂いたアイデアの実現化について皆さんも一緒に考えていただきたい。そのよ  
うな事が一つひとつ積み重さなることで、自然再生の普及が力強く広がっていく  
ことを願っている。

構成員：今後、資料はできればデジタルでいただきたい。なぜなら、デジタル媒体だと SNS  
で共有もしやすく、勝手にサロベツを応援してくれる組織ができると思う。外の  
地域からも応援してもらいやすくするためには紙媒体も必要だが、デジタルは必  
須条件として作っていただきたい。

座長：例えば自分も参加してみたいが、方法がわからない人という方がいた場合には支  
援してくれるような窓口はあるのか？

事務局：エコモー・プロジェクトの窓口で相談は可能だと思う。エコモー・サポーターの  
役割は、「完成した計画をください」というのではなく、参加したい人が組み  
たい事を計画して相談するというのが良いのではないかと思う。その際に、アド  
バイスや支援は可能だと思うが、常設の機関はないので参加したい方が来た時に  
相談する形になると思う。